

**環境調査結果のお知らせ**

本日、宇佐漁港周辺のプロプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で340cells/ml認められました。シャットネラ属とディクチオカ・フィビュラは認められませんでした。

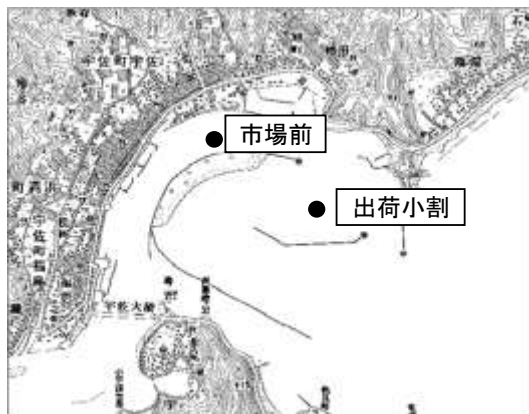
**カレニア・ミキモトイについては市場前で被害が想定される細胞密度を上回っていました。**

浦ノ内湾内は湾口まで全体的に着色しています。さらにカレニア・ミキモトイは光松から東の定点で細胞密度が被害の想定されるレベル、シャットネラ属は目ノクソの定点で細胞密度が被害の想定されるレベルになっており、潮汐や風によって宇佐漁港周辺にも移動する可能性があります。

慎重な養殖管理をお願いします。

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ディクチオカ・フィビュラ
市場前	0m	260	0	0
	2m	340	0	0
	5m	88	0	0
出荷小割	0m	7	0	0
	2m	8	0	0
	5m	28	0	0
(参考) 目ノクソ	0m	1	0	0
	2m	8	54	4
	5m	0	7	3
(参考) 大鹿	0m	450	0	0
	2m	920	7	0
	5m	22	2	0
(参考) 水試小割前	0m	2,040	0	0
	2m	4,600	1	0
	5m	280	0	0



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ:  
数百～5,000cells/ml(魚類などのへい死)
- ・シャットネラ属:  
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・ディクチオカ・フィビュラ(魚類のへい死):  
赤潮発生時